



MORIOKA
ROTARY CLUB WEEKLY

第33回例会(3月7日)
平成26年3月14日発行

クラブ事務所 岩手県盛岡市薬園1丁目10
川徳デパート内
例 会 場 同上 TEL(651)1111(代)
FAX(653)5622
例 会 日 毎週全曜日12時30分～

会 長 平井 滋
幹 事 平野 佳則
会 報 金子 真也
クラブ直通電話 TEL(653)5682

Engage Rotary. Change Lives. 「ロータリーを実践し みんなに豊かな人生を」…… Ron D. Burton

新入会員卓話



「やまについて～岩手山～」

鹿島建設(株) 盛岡営業所長
佐藤 仁志 君

山歩きの始まりは、社会人になってからです。独身時代勤務していた青森県でのことです。

北八甲田連峰の山深くに「葛温泉旅館」という一軒宿があり、旅館のお仕事を弊社にご下命いただいた関係で、当時の社長様、支配人様に大変可愛がっていただきました。葛温泉旅館をベースにして北八甲田の山々を歩き始めたのが、わたしの山歩きの始まりです。その後、南は安達太良山、磐梯山まで、東北の山を歩いておりますが、特に近年は毎年2～3回は山頂を目指し、我が 岩手の母なる主峰、岩手山についてお話をしたいと思っております。

諸先輩には、岩手山について大変よくご存じのことばかりであり、また私よりも山について「語られる」方が多数いらっしゃることで存じますが、暫しお付き合い下さい。

1. 概要

岩手山は盛岡市の北西約18kmに位置し、標高は2,038m。

八幡平市、滝沢市、雫石町にまたがり、西は姥倉山などが続くものの、奥羽山脈の主稜からは離れており独立峰に近いかたちです。

地形的には全体の3分の2を占める西岩手山とその上に覆いかぶさった東岩手山に大別され、東岩手山の外輪山、いわゆる「お鉢」の最高点が岩手山の山頂である。

西岩手山は中央真ん中あたりに赤倉岳がありますが、その隣に屏風尾根とあります。その南側の赤線の下に鬼ヶ城があります。この屏風尾根と黒倉岳、鬼ヶ城を結んだ広大なエリアが西岩手山の外輪山です。盛岡から見ると山頂の左側に見えるギザギザ部分です。

東岩手山は、薬師岳とある最高標高点を含む

赤い丸い線が東岩手山の外輪山、いわゆるカルデラです。

2. 岩手山の噴火史

さて岩手山が火山であるのは皆様ご存知の通り。近年の噴気活動からわかるとおり、れっきとした「活火山」という見方がなされております。

岩手山は3期にわたる時期に活動した火山群である。

造山活動は約70万年以降に形成されたものと考えられる。第1火山群は松川安山岩からです。

第2火山群は約30万年前から西岩手山が成長し、岩手山の形成をこの西岩手山と形成した30万年前とする説が多いようです。

第3火山群は、約3.5万年前、東岩手山が噴火地点となる。

マグマ噴火地点は次第に東側に移動して、1732年の皆様良くご存じの焼走り溶岩噴出が最も東側になっている。

一般的に、新しいマグマが直接噴出、あるいは多くの火山灰を吹き上げたりする噴火をマグマ噴火という。一方で、マグマ自体は噴出せず、マグマから供給された熱で、地表付近の水が加熱されて、急激に水蒸気になって爆発することを水蒸気爆発という。また表中にスコリア噴火とありますが、スコリアとはマグマが固まっていく過程で水分などがぬけ穴がたくさん空いた状態になった黒い塊のこと。わかりやすく申し上げますと焼き走りに転がっている黒い軽石みたいな石のことです。これを噴き出す噴火をスコリア噴火といいます。

山体崩壊とは、噴火の圧力で既存の山を吹き飛ばして崩壊させることですが、岩手山群は、

西・東岩手山合せて19万年の間に7回の山体崩壊を起こし、その数は日本の成層火山で最も多い。(富士山4回/2.3万年)

3. 火山噴火の仕組み

【プレートテクトニクス】という言葉があります。皆様よくご存知の通り「プレート理論」ともいい、地球の表面が何枚かのかたい岩盤で構成されており、このプレートが対流するマントルによってお互いに動いているという理論。

我々が住む東北日本の東の海中では、太平洋の東部で生まれた太平洋プレート(比重の重いプレート)が、東日本を載せた北アメリカプレート(比重の軽いプレート)に衝突している。重い太平洋プレートは、軽い北アメリカプレートにぶつかって、斜め40-50°の角度で沈み込んでいる。沈み込んだ太平洋プレートの上部マントルの一部が溶けて上昇していき、マグマが形成され、いったんマグマだまりに蓄積された後地表に噴出する。この現象を火山噴火と呼ぶ。

したがって、海溝(千島海溝-日本海溝-伊豆小笠原海溝)にほぼ平行に火山が分布することになり、この火山分布を火山フロントと呼んでいる。従来、火山の集合帯を火山帯、たとえば奥羽山脈は那須火山帯、北海道は千島火山帯などと呼んでいました。しかし現在は火山帯という呼び方はせず火山フロントという呼び方をしている。ちなみに昨年の小笠原諸島西之島付近にできた「新島」もこの火山フロントの現象の一部とされています。

4. いわての山との比較【早池峰山】

ところで岩手の山のなかで岩手山と大きく形成が違う山々があります。ここでは早池峰山を代表として取り上げます。

①北上山地の形成

早池峰山は北上山地にあります。北上山地は、早池峰山を含んだ早池峰構造体をはさんで、北部北上山地と南部北上山地にわかれる。北部はジュラ紀(1.9~1.4億年前)頃に形成されたもの。これに対し南部はシルル紀(4.4~4.1億年前)頃に形成された赤道直下の古代大陸「 Gondwana大陸」の北縁の断片である。4億年前は巨大大陸が赤道の上にあったといわれています。1.5億年前頃にプレートテクトニクスにより北部と南部が衝突し海中下にあったプレートが陸化し北上山地になった。東から来た北部と、南から来た南部が大激突したわけです。すなわち、北上山地は火山ではなく陸地が隆起したものだということは、結論として皆様よくご存知の通りのことです。

申し上げたいのは、岩手県は、北上川をはさ

んで西部は岩手山を主峰とする奥羽山脈、東部を早池峰山を主峰とする北上山地で形成されているわけですが、いずれも「プレートテクトニクス」により形成を説明できること、さらに東日本大震災までもこの理論により説明できることに、あらためて地球のダイナミズムを感じざるを得ないのは、私だけでしょうか。

【蛇紋岩】

早池峰構造体については南部北上地層の最底部を構成する【蛇紋岩】が南部と北部の衝突でめくれ上がった部分と言われている。

この蛇紋岩は、実はアスベスト(石綿)の一種。アスベストは繊維状の鉱物で、断熱性等に優れているため、我々の建築業界では断熱材として、また自動車のブレーキパッドなどとして長く使われてきましたが、1960年代にアスベストによる肺がんや中皮腫の発生が確認され使用禁止になっているものです。もちろん早池峰の蛇紋岩は固着化しているので、そのままではなんら問題はありません。

②早池峰山と宮沢賢治

ところで、蛇紋岩といえば、花巻出身の、かの宮沢賢治は少年時代より「石口賢さん」と呼ばれるほど岩石や鉱物採取に熱中していたそうです。

早池峰山巔(はやちねさんてん：山の頂)
石絨(せきじゅう)脈(すじ)なまぬるみ、
苔しろき さが巖にして
いはかゞみひそかに熟し、
ブリューベル露はひかりぬ。

宮沢賢治は、鉱物学の分野まで季節を表す事象として捉えているという、独特の世界観、感性を感じざるを得ません。

5. 岩手山の山岳信仰と文化

①山岳信仰

古来から岩手山は山そのものがご神体として崇められる自然信仰の山だったが、大同2年(807年)坂上田村麻呂が岩手山にこもる賊を退治するために御陣小屋を設けたことから岩手山神社が創建されたとしている。

藩政時代には南部公の崇敬が篤く、岩鷲山大権現として祭られるようになった。

なお、東岩手山の御鉢には63体の観音像が並ぶ、神仏混淆の様式である。

②岩手山と宮沢賢治

さきほど、早池峰山で宮沢賢治について触れたので、岩手山への賢治の思いを述べてみます。

岩手山をこよなく愛した宮沢賢治は、いつも滝沢市柳沢（通称馬返し）の岩手山神社境内の社務所で休憩をとってから登山したという。37年の生涯の中で100回以上岩手山に登ったとされている。

ここで賢治の詩を2つご紹介いたします。

【柳沢登山口の歌碑】にもなっている詩です。

岩手山 いただきにして ましろなる
そらに火花の涌き散れるかも

この詩は、盛岡高等農林時代に友人と登った山頂でのもの。火花のように素晴らしいものが見えたのでしょうか。

【「裏岩手火山」の一節】

空の散乱反射のなかに
古ぼけて黒くえぐるもの
ひしめく微塵の深みの底に
きたなくしろく澱むもの

有名な一節ですが、非常に屈折した思いが込められた詩です。このように賢治はその時々のおもひや、季節のうつろいにより、数々の作品を残しております。

賢治の他にも、岩手山を題材にした絵画、詩や短歌など石川啄木をはじめとして多数あります。

6. 現在の岩手山登山道案内

現在、山を歩く人のために登山道が数多く整備されています。登山道の整備は江戸末期からはじまっており、文政2年（1819）には町人らの寄付によって、岩鷲山参詣の道しるべの碑が馬返しより頂上まで10本が建てられております。

主なコースに柳沢コース、焼走りコース、上坊（うわぼう）コース、網張コース、御神坂コース、焼切沢コースなどがある。

7. 岩手山 山あるきの楽しみ

①まずは高山植物。主に、7月から8月にかけての登山シーズンには数々の高山植物が咲き乱れ、登山者の目を楽しませてくれるが、岩手山の中でも特に頂上（火口を含む13ha）と9合目の不動平（15ha）が高山植物帯として国の天然記念物に指定されている。頂上など条件が悪い所でも生育する植物があり、その代表は高山植物の女王といわれるコマクサである。

②2つめは、山小屋での楽しみです。岩手山には食事を提供するような山小屋はない。あるのは悪天候時に避難するために建てられた避難小屋だけであるが、避難小屋には寝袋等を持ち込めば宿泊できる。食事などはそれぞれ登山者が担ぎあげます。もちろん水場で冷やして飲むビールと白ワインは欠かせません。

またグループの場合は雲海の上での宴会になること請け合いです。

③3つめはグループ登山（2013年山開き登山）。昨年の7月1日の岩手山山開きには、鹿島建設有志12名で参加いたしました。馬返しからは岩手駐屯地の方々が多く参加され、さながら自衛隊の隊列行進のような有様でありました。私は単独、一人歩きが多いのですが、大勢でペースを合せながら歩くというのも、達成感と連帯感が心地よいものです。

8. 最後に岩手山

山歩きの日記を架空で作ってみました。妄想です。

201X年7月○△日

今日は久しぶりの岩手山1泊2日の山歩きの日。盛岡ロータリーの平野会員とご一緒だ。（すみません、山にお詳しいと聞いて、勝手に名前を使わせていただきました。）

ルートは、往路が焼走りコース、八合目避難小屋に泊まり、下山は網張コースである。

10:00網張温泉集合。ここに1台車を置いて、もう1台に同乗し焼走り登山口に向かう。焼走り交流村で早めの昼食を済ませ、11:30登山開始。今日は雲ひとつない絶好の天気である。

12:45焼走り第2噴出口到着。眼下に広がる黒々とした溶岩流。これが1732年の焼走り溶岩流か。このあたりから、スコリアの、黒い軽石が登山道に広がり歩きにくい。13:30コマクサの大群落到着。ちょうど花盛りで一面コマクサでいっぱい。ロープが張られているので、中に立ち入らないように気をつけながら写真に収める。

15:20お鉢にたどり着き、15:30ようやく山頂到着。お鉢に上がると風が強い。今日は遠くに早池峰山が見え、東にあるはずの姫神山は見えない。伝説では、岩手山、姫神山、早池峰は、非常に難しい三角関係で、どちらかが見えると片方は姿を隠すのだとか。「よう、岩手山。あんたは、たかだか30万年前の若造。早池峰は少なくとも1億年以上だぞ。ずいぶん年増好みだな。しかも向こうはアスベストの毒を持っているぞ。気をつけろ」などと思いながら、写真をとる。

火口の岩手山神社奥院に下り、お参りをした後に、下山。16:30八合目小屋着。今晚は、かつぎあげたりリュックに入った食材を使って、ホロホロ鶏の鍋だ。平野さん、ゆっくりやりましょう。

さて翌日。3:00起床。寝床をまとめ避難小屋を後にする。今日の日の出は4:20。やはりお

鉢からご来光を見たい。雲は、眼下の山々のヒダにうずくまって動かない。快晴だ。ご来光に手を合わせ、写真をとる。今朝は日の出方向に姫神山が見える。早池峰は見えない。三角関係、解消せず。

不動平に下り、高山植物を見ながら下山。途中雪渓もあった。5:00 鬼ヶ城に入る。ひと1人やっと通れる狭い切り立った岩場を抜けながら、屏風尾根を見下ろす。これが西岩手山の

火口か。本当に広い。6:30 切りとおしを抜け、第1火山群である黒倉山を抜ける。ここからは30万年以前の世界。姥倉分岐から犬倉山を抜け、8:00 網張りフト乗り場へ。

8:40 網張温泉着。50万年以前に出来たマグマだまりから湧き出る温泉にゆっくり入り、帰宅の途につく。平野さん、今晚盛岡で反省会しましょうよ!

以上、ご静聴ありがとうございました。

例 会 報 告

第33回例会 平成26年3月7日(金)

- 於 川徳 12時30分 開会点鐘
- ・司 会 岩野法光副会長
- ・ソング 奉仕の理想
- ・国歌 君が代
- ・会長報告 岩野法光副会長
- ・新入会員紹介 吉原伸和会員 住友生命保険相互会社 盛岡支社長 紹介者：桑田周一会員
- ・ビジター 小出 茂さん(会友(東京支部))。
- ・皆出席 バッチ 白石 茂君 (25

年)。

- ・入会祝 白石 茂・坂本広行・江口博朗君。
- ・誕生祝 荻野忠良・近藤 駿・平野佳則・阿部勇一君。
- ・結婚祝 若松清三・盛田洋太郎・飯塚 肇・長澤 茂・長野隆行・岩野法光・金子真也君。
- ・幹事報告 平野佳則幹事

【ニコニコBOX】

- ◆樋山 桂君…山田ロータリークラブより「山田の作文」を今年も頂き、先日読みました。震災翌年の作文も涙なしでは読めませんでした。3年目の今年の作文も良い

作文ばかりです。その話題のある場所でしたところ、明日11時より盛岡南イオンにて行われるラヂオもりおかの「メモリー3・11」の公開録音で歌手の臼沢みさきちゃんに読んでもらうことになりました。山田RCの伊藤会長にも昨年お邪魔したご縁もあり私が連絡を取り快く許可も頂きました。良い橋渡しができたことにニコニコします。

●メーキャップ

盛岡北R.C.=福田君。盛岡西北=佐藤(重)君。クラブ委員会=阿部(勇)・樋山・長澤・岡村・坂本君。

出席報告

■ 会員数 / 70 名

■ 出席数 / 44 名

■ 出席率 / 64.71%

■ 前々回修正出席率 / 87.89%

プログラムの お知らせ

- ・3月14日(金) 環境保全ポスター表彰式
- 21日(金) 祝日休会(春分の日)
- 28日(金) ゲスト卓話 森 義真様「石川啄木と盛岡」

●本号編集担当 / 金子 真也

●次号編集担当 / 桑田 周一